

一橋大学

指定国立大学法人構想の展開等に向けて



一橋大学長 中野 聡

2022年1月12日
国立大学法人評価委員会
指定国立大学法人部会ヒアリング



一橋大学 指定国立大学法人唯一の社会科学系大学

「日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成すること」（一橋大学研究教育憲章）

国立大学初
ビジネススクール
国際認証

AACSB

2021年7月取得

科研費採択率

57.9%

全国1位
14回（2004～2020年度）
※新規課題採択率（全国平均）
27.4%

司法試験累計合格率

82.9%

全国1位
（2005～2019年度修了生合計）
※全国平均合格率54.6%

経済研究所
共同利用・共同研究拠点

S評価

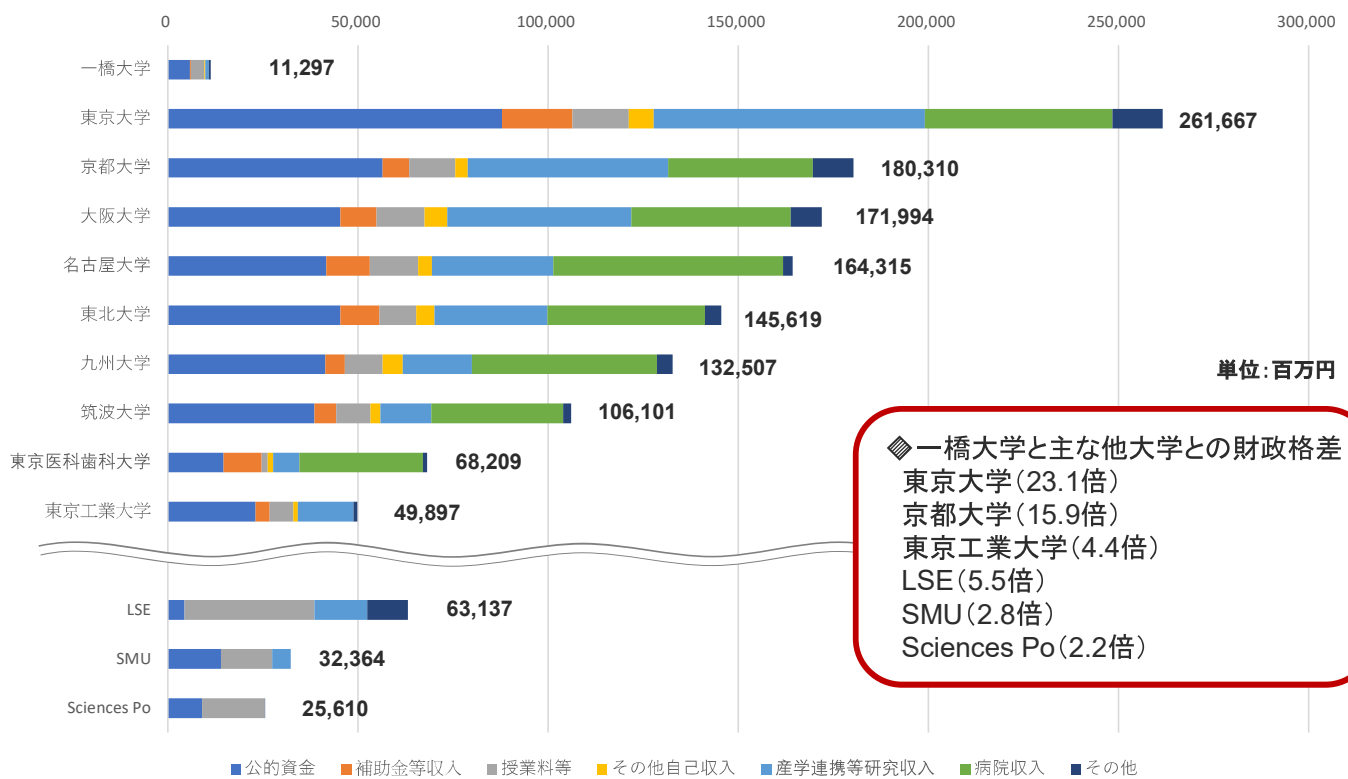
「日本および世界経済の
高度実証分析」

上位職（教授以上）
の女性教員比率

高水準

上位職の女性教員比率において、
指定国立大学既指定校を
上回る

日本の総合大学・理工医学系大学(指定国)及び海外ベンチマーク大学との財政規模比較



【出典】国立大学は各大学決算報告書(2020)より作成 ※施設整備費補助金等除く
 海外大学は各大学のFinancial Report、またはウェブページより一橋大学作成 (Sciences Poは2014年、SMU及びLSEは2019-2020より)

目次

I. 指定国立大学法人構想の進捗状況について

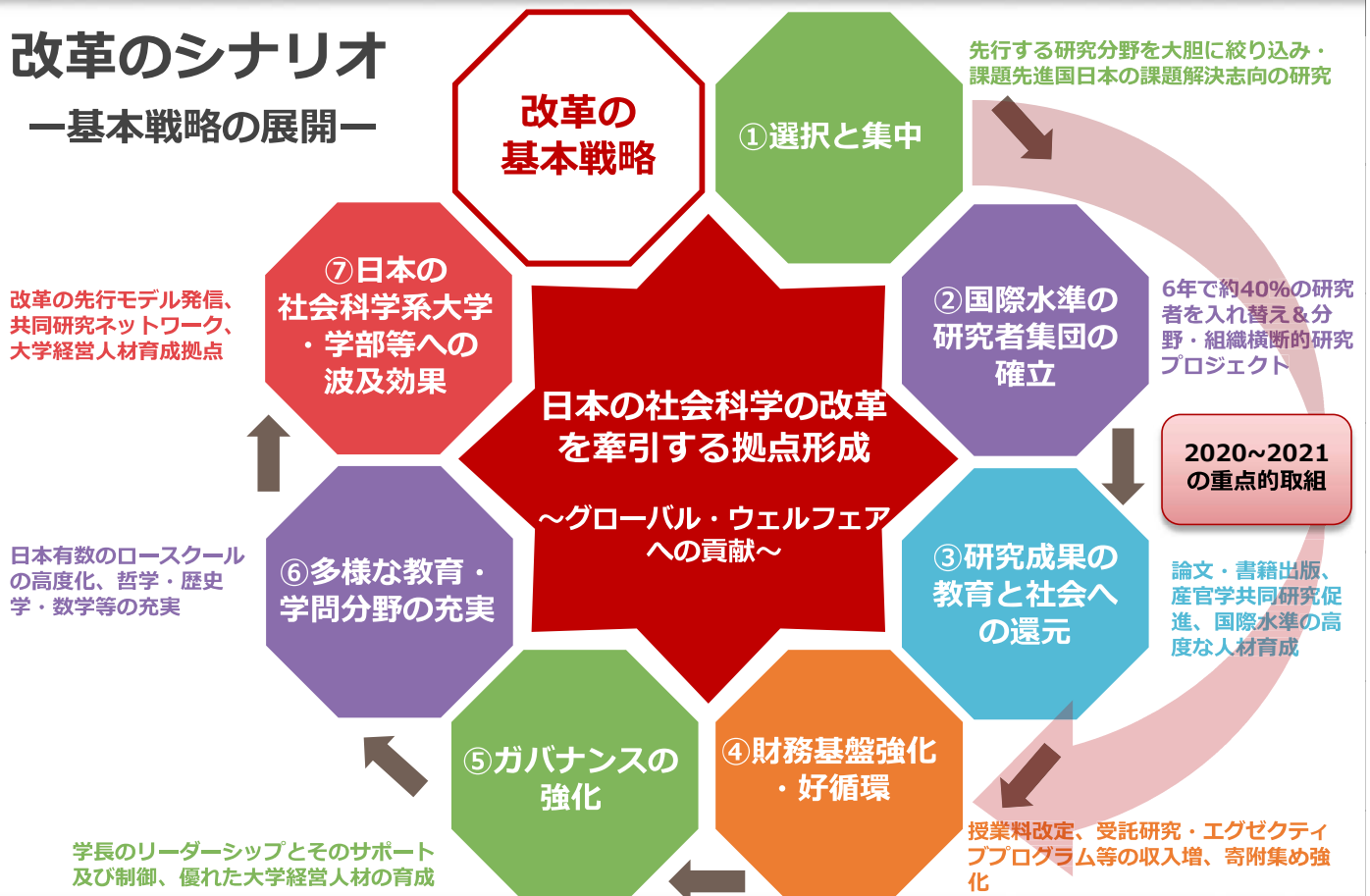
II. 国際的なプレゼンスの向上を示す状況について

III. 第4期中期目標期間に向けた今後の計画・展望

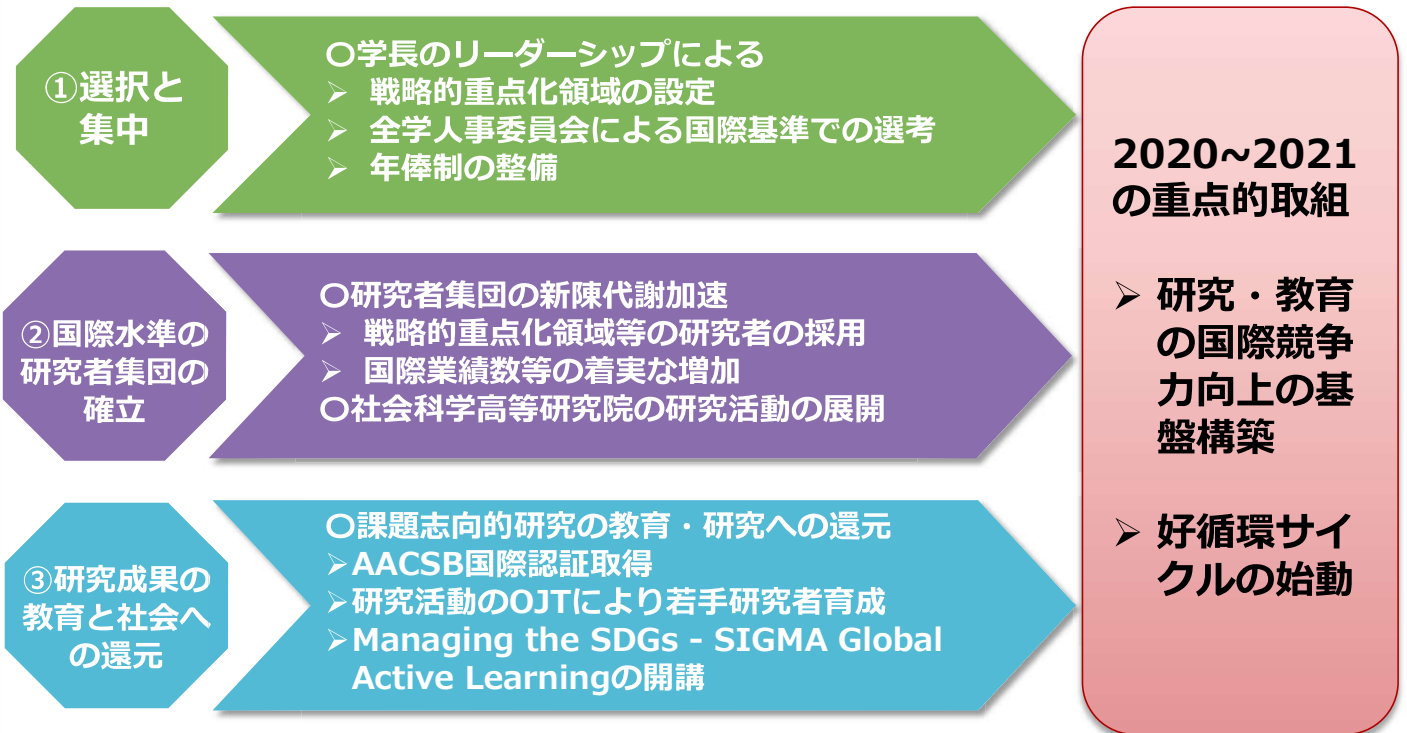
IV. 結び

I. 指定国立大学法人構想の進捗状況について

改革のシナリオ —基本戦略の展開—



I. 指定国立大学法人構想の進捗状況について



戦略1

研究力強化のための選択と集中

戦略的重点化領域の設定

戦略領域重点化
コミッティー
(座長：学長)

学長のリーダー
シップによる
領域集中

◆ 既存領域

国際的優位性がある領域

経済学

経営学

会計学・ファイナンス

政治学・国際関係学

◆ 新規領域

社会課題と本学のミッ
ションから見た重要性

心理学

データ・サイエンス

グローバル・ロー

経営資源を集中投入

全学人事委員会(委員
長：学長)による国際
基準での選考

国際基準による
評価システムの確立

年俸制の整備

国際的業績を生み出せる教員を一気に増強

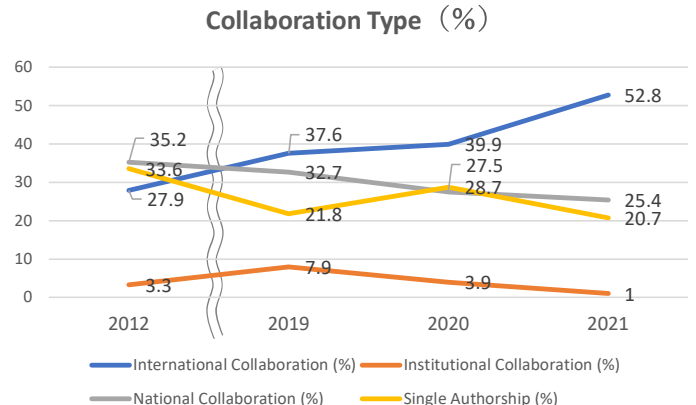
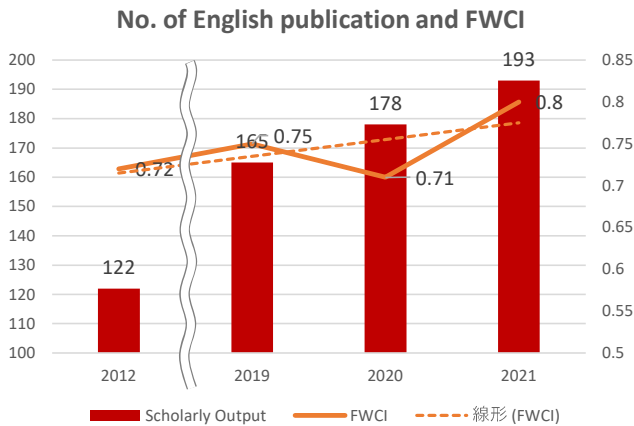


戦略2

国際水準の研究者集団の確立

研究者集団の新陳代謝加速

- ・ 初めの6年で122名（約40%）の新規教員、11年で212名（約70%）の新しい研究者による国際水準への質転換
- ・ スター研究者と若手研究者の2本建て・特定年俸制・国際公募、国際学会にリクルート・チーム派遣
- ・ テンユア・トラック制度の更なる活用による人事活性化



※2021年の数値は暫定値 (Scopusデータ参照日: 2021年11月30日)

大学全体として、英文業績数、FWCI及び国際共著文献率は徐々に増加しており、研究活動の国際展開が進展するとともに、研究水準も向上しつつある。



戦略2

国際水準の研究者集団の確立

国際水準の研究者集団確立—新規採用教員(予定含む)の国際業績指数

1. 英文業績数* (過去5年間 (2016-2020))

| 英文業績数* | 教員一人当たり平均値 | 備考 |
|---------------|------------|----------------------|
| 新規採用教員 (予定含む) | 1.83 | 参考値: LSE (2019) 1.34 |

2. FWCI* (過去5年間 (2016-2020))

| FWCI* | 教員一人当たり平均値 | 備考 |
|---------------|------------|-------------|
| 新規採用教員 (予定含む) | 1.16 | 参考値: 世界平均 1 |

3. 国際共著文献率 (%) * (過去5年間 (2016-2020))

| 国際共著文献率 (%) * | 教員一人当たり平均値 | 備考 |
|---------------|------------|----------------------------|
| 新規採用教員 (予定含む) | 41.1 | 参考値: 一橋大学 (2016-2020) 35.9 |

新規採用教員の英文業績数、FWCI及び国際共著文献率も高い水準にあり、国際水準の研究者集団の採用が着実に進捗しており、国際水準の研究者集団の確立に向けた取組を進めている。

*Scopusデータベースに情報のある2020年度新規採用教員並びに新規採用予定者 (合計25名) の英文業績数等を算出 (2021年11月30日参照)



戦略2

国際水準の研究者 集団の確立



- ・学長直属の社会科学高等研究院での国際的な共同研究によるシナジー効果創出
- ・ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター及びソーシャル・データサイエンス学部・研究科<仮称>の創設による学際研究・国際共同研究を加速する

社会科学高等研究院

(HIAS:Hitotsubashi Institute for Advanced Study)

学長直属の部局横断的な研究組織

学際的研究・国際共同研究を推進

社会課題に応じた研究センターを配置 (現在8センター)

○主な研究センター

グローバル経済研究センター (日本と世界の持続的な成長を実現するための政策提言)

医療政策・経済研究センター (社会保障(医療・介護)分野における政策課題の解決に貢献)

マネジメント・イノベーション研究センター (経営管理、あるいは経営スタイルの革新への貢献)

グローバル・ガバナンス研究センター (国境を越えた新たな紛争などの解決)

データ・デザイン研究センター (「新しいタイプの経営(デザイン経営)」の探求)

ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター

(社会科学を基盤とするデータサイエンス領域における教育研究の推進)



戦略3

研究成果の教育と 社会への還元

課題指向的研究の教育・社会への還元

学士課程

- ・英語による専門科目の増加
- ・英語による専門ゼミナールを履修できるデュアル・ゼミナール制の導入・制度化

博士課程

- ・研究活動のOJTにより世界で活躍できる若手研究者を育成

プロフェッショナル教育

- ・AACSB国際認証を国立大学法人として日本で初めて取得
- ・全国の法科大学院の中で累積合格率1位

エグゼクティブ教育

- ・医療 経済短期集中コースを開催
- ・ホスピタリティ・マネジメント高度人材開発センターを中心として、ホスピタリティ・マネジメントに関する教育研究の高度化を推進

社会還元

- ・Managing the SDGs - SIGMA Global Active Learningの開講
- ・民間企業等からの受託研究等は新規・更新を含む76件(約2億円)を受入れ

国際ベンチマークに対する進捗状況

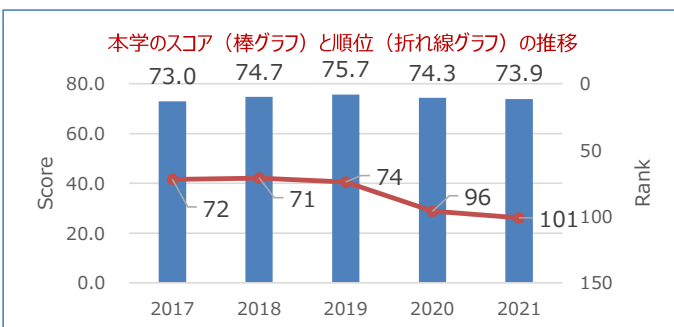
QS Subject Rankings 2021 Social Sciences & Management (社会科学分野)

指定国立大学法人構想における達成目標と現況

QS世界大学ランキング目標

| 分野 | 年 | 2018年 | 10年後 | 20年後 |
|----------------------------------|---|--------|-------|-------|
| Social Sciences and Management | | 71 | 30位以内 | 10位以内 |
| Economics & Econometrics | | 51-100 | 30位以内 | — |
| Accounting & Finance | | 51-100 | 30位以内 | — |
| Business & Management Studies | | 51-100 | 30位以内 | — |
| Politics & International Studies | | 51-100 | 30位以内 | — |

| Subject | Ranking2017 | Ranking2018 | Ranking2019 | Ranking2020 | Ranking2021 |
|----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| Social Sciences and Management | 72 [4] | 71 [4] | 74 [4] | 96 [4] | 101 [3] |
| Economics & Econometrics | 51-100 [3] | 51-100 [3] | 51-100 [2] | 51-100 [3] | 72 [3] |
| Accounting & Finance | 101-150 [2] | 51-100 [2] | 51-100 [2] | 51-100 [2] | 101-150 [2] |
| Business & Management Studies | 101-150 [3] | 51-100 [1] | 51-100 [3] | 101-150 [4] | 111 [2] |
| Politics & International Studies | 101-150 [5] | 51-100 [4] | 101-150 [5] | 101-150 [5] | 151-200 [6] |



2021 Social Sciences & Management

[]は国内順位

| # Rank | Overall Score | Academic Reputation (50%) | Employer Reputation (30%) | Citations per Paper (10%) | H-Index (10%) |
|----------------|---------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------|
| 2 LSE | 94.5 | 100.0 | 87.7 | 92.7 | 89.4 |
| 34 東大 | 80.7 | 81.6 | 84.5 | 80.3 | 65.4 |
| 56 Sciences Po | 77.6 | 81.8 | 69.9 | 85.8 | 71.4 |
| 76 SMU | 75.7 | 80.1 | 69.2 | 85.9 | 62.5 |
| 83 京大 | 75.2 | 76.3 | 75.7 | 79.6 | 64.0 |
| 101 一橋 | 73.9 | 79.1 | 74.1 | 63.5 | 57.4 |
| 101 早稲田 | 73.9 | 78.2 | 74.6 | 71.0 | 53.2 |

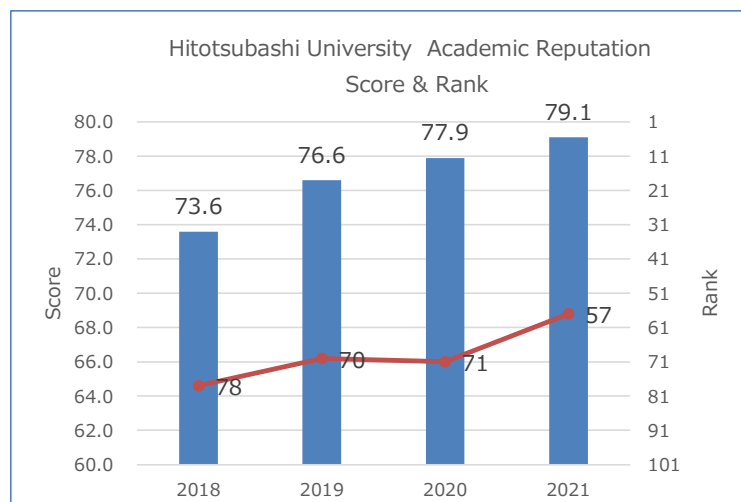
国際ベンチマークに対する進捗状況

課題

一橋大学はReputationのスコアは比較的上位に位置する一方で、Citations per Paper及びH-indexのスコアが低く、研究力の向上が課題

ランキング向上に向けた取組

- ① 国際水準の研究者集団の拡充による研究力の向上
- ② 本学の研究・教育ネットワークを利用した学外研究者・企業人との連携強化



(Ref.) QS Subject Rankings Social Sciences & Management METHODOLOGY

| Indicators | WEIGHTINGS |
|---------------------|------------|
| Academic Reputation | 50% |
| Employer Reputation | 30% |
| Citations per Paper | 10% |
| h-index | 10% |

Ⅱ. 国際的なプレゼンスの向上を示す状況について

14

1. 世界トップクラスのビジネススクール国際認証の取得

○AACSB International —The Association to Advance Collegiate Schools of Business (AACSB)は、米国に本部を置くマネジメント教育の代表的な国際認証機関であり、同機関の認証を受けたビジネススクールは**世界全体で6%未満**に限られる。

○AACSB国際認証を日本国内の**国公立大学**としては**初めて取得(2021年)**。

○本学のAACSB認証は、①学士課程(学部)、②MBA・EMBA(経営学修士)、DBA(経営学博士)、③研究者養成の修士課程(MSc)・博士後期課程(Ph.D.) までカバーする、**ビジネスに関する幅広い教育プログラムが対象となっている点に特徴**。

○AACSB国際認証取得を契機に、ビジネス教育・研究の更なる高度化と国際化を推進

15

2. 社会科学高等研究院 (HIAS) の国際展開 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) への貢献

- 中・低所得国における医療技術評価 (HTA) を推進するための研究と能力開発の国際共同研究ネットワークを推進
- 医療技術評価 (HTA) を用いた医療予算配分の効率化に係る政策支援を行うための国際研究交流拠点、若手研究者・政策担当者育成のための拠点を構築

*Collaboration with Overseas Institutions

- Thai National Health Foundation (NHF)
- Health Intervention and Technology Assessment Program (HITAP)
- Saw Swee Hock School of Public Health (National University of Singapore)
- Mahidol Oxford Tropical Medicine Research Unit (MORU)

Kingdom of Bhutan

- ワークショップ開催
- HTA及び非感染性疾患に関する共同研究

Thailand / Singapore / Japan

- 医療技術の評価に関する研究

Republic of Senegal

- ワークショップを開催
- UHCモニタリング事業とHTA政策導入にかかる共同基礎研究

Thailand

- 年次会議及び学術セミナーの開催
- 生活習慣病対策の費用対効果分析に関する共同研究

ASEAN

- 伝染病監視システムの構築

Funded by JSPS KAKENHI Grant Number 21H04396 and
JSPS Core to Core Program Grant Number JPJSCCB20200002

Core-to-Core Program



3. 世界トップクラスの大学等との国際ネットワークの展開

① SIGMA

Global Virtual Course “Managing the SDGs”

- 2020年から21年にかけて、世界各地のパートナー機関から120名の学生が登録
- オンラインでの共同講義に加え、グループワーク（ショートビデオの制作）によるアクティブ・ラーニングを実施
- 「キャンパスの国際化」を促進する斬新な教育方法

S I G M A
Societal Impact & Global Management Alliance

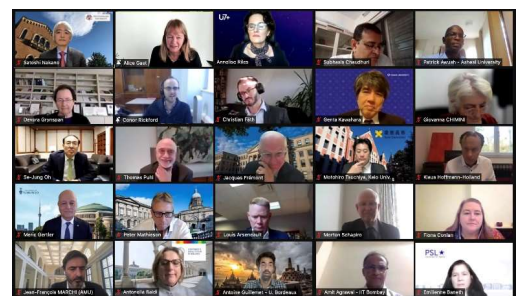


SIGMA partners are:

Copenhagen Business School (Denmark)
Esade Business School (Spain)
FGV/EBAPE (Brazil)
Hitotsubashi University (Japan)
Renmin University of China (China)
Singapore Management University (Singapore)
Université Paris Dauphine-PSL (France)
Universität St. Gallen (HSG) (Switzerland)
WU Wien (Austria)

② 国際パートナーシップの拡充

イエール大学(米国)、ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)等とのダブルディグリー協定の締結や世界主要大学の連合体 (U7+ Alliance) への参加による国際的な教育研究ネットワークの拡充



The third U7+ Summit held online (2021)

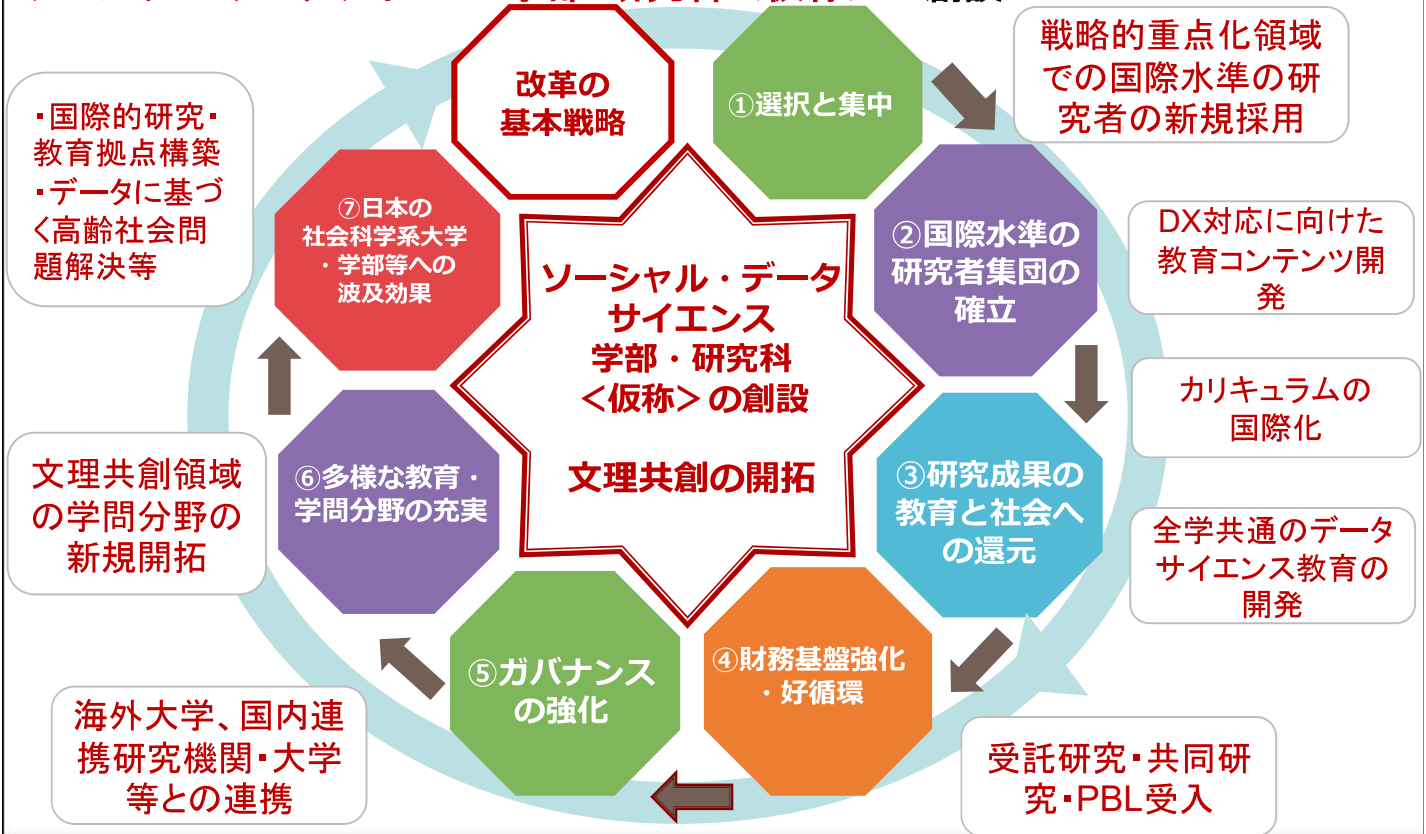
Ⅲ. 第4期中期目標期間に向けた今後の計画・展望



改革の基本戦略の今後の計画・展望について



構想の充実・高度化の取組としての ソーシャル・データサイエンス学部・研究科<仮称>の創設について



20

構想の充実・高度化の取組としての ソーシャル・データサイエンス学部・研究科<仮称>の創設

一橋大学における数理・データサイエンス領域の教育・研究基盤

- 伝統的に数理・統計系の教育研究に強み
- ソーシャル・データを活用した統計・実証研究の蓄積
- 経済研究所が構築してきた各種DBなど膨大な研究資産
- 産官学連携によるビッグデータ・AIを活用した研究

新学部・研究科「ソーシャル・データサイエンス学部・研究科」<仮称>の設置

- ソーシャル・データサイエンスを新しい社会科学の教育研究領域として日本で初めて確立
- 文理横断的・異分野融合的な知を備えた人材育成を実現する教育組織改革
- 既存学部等と新学部・研究科が協働して新領域の人文社会科学を創造
- 海外主要大学データサイエンス関連教育動向把握に基づくカリキュラムの国際化

具体的方策・効果

- ソーシャル・データサイエンス新領域研究を開拓するトップクラスの教員を新規採用
- 文理共創による既存の学問分野の枠を超えた知識創造と高度人材育成の拠点を構築
- 連携研究機関・大学等とのクロスアポイントメントなどの活用
- 受託研究・共同研究・PBLなどを通じて、一橋大学の社会連携を飛躍的に強化

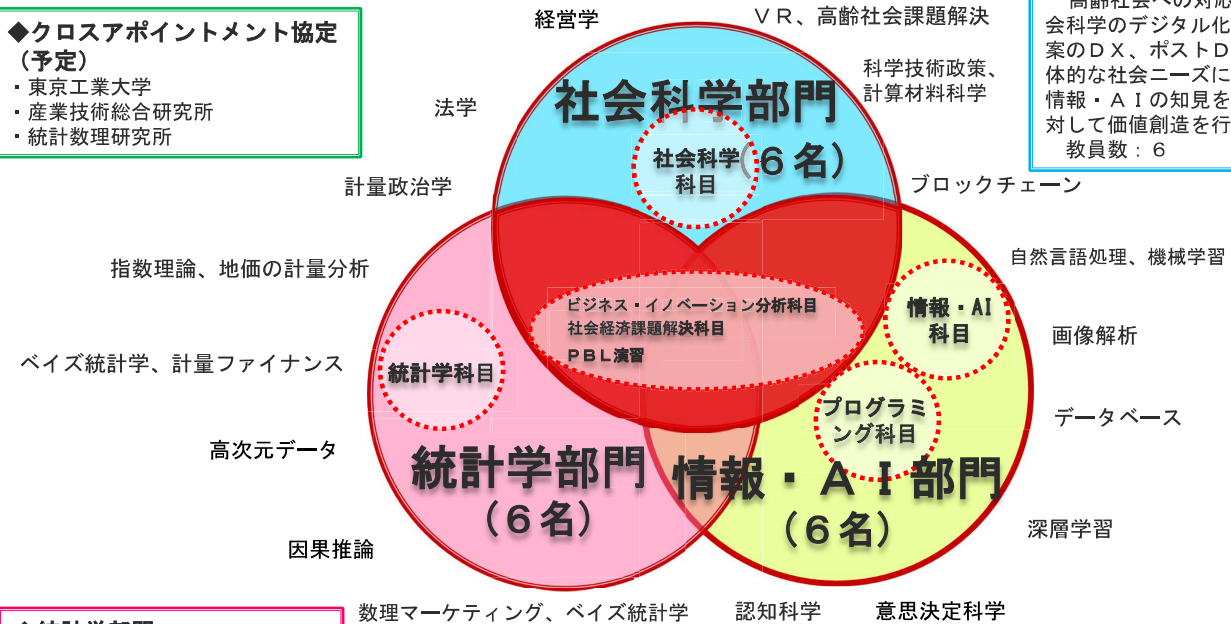
21

一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部・研究科（仮称）教員配置について

- 現実の社会課題の解決を目的とした研究・教育実践の場であり、女性・若手を含む多様な教員体制としている。
- 統計学、情報・AI、社会科学という3部門を設定し、部門間のバランスと部門内の多様性を配慮した。

◆クロスアポイントメント協定（予定）

- ・東京工業大学
- ・産業技術総合研究所
- ・統計数理研究所



◆統計学部門

具体的な社会課題を対象として、データサイエンスの基礎となる先端的統計学のフロンティアを開拓する。
教員数：6

◆情報・AI部門

社会実装上必要性の高いAI技術の開発を通じAIの基礎研究の拡大・技術成熟度の向上を行う。
教員数：6

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、今後変更することがあります。

22

IV. 結び

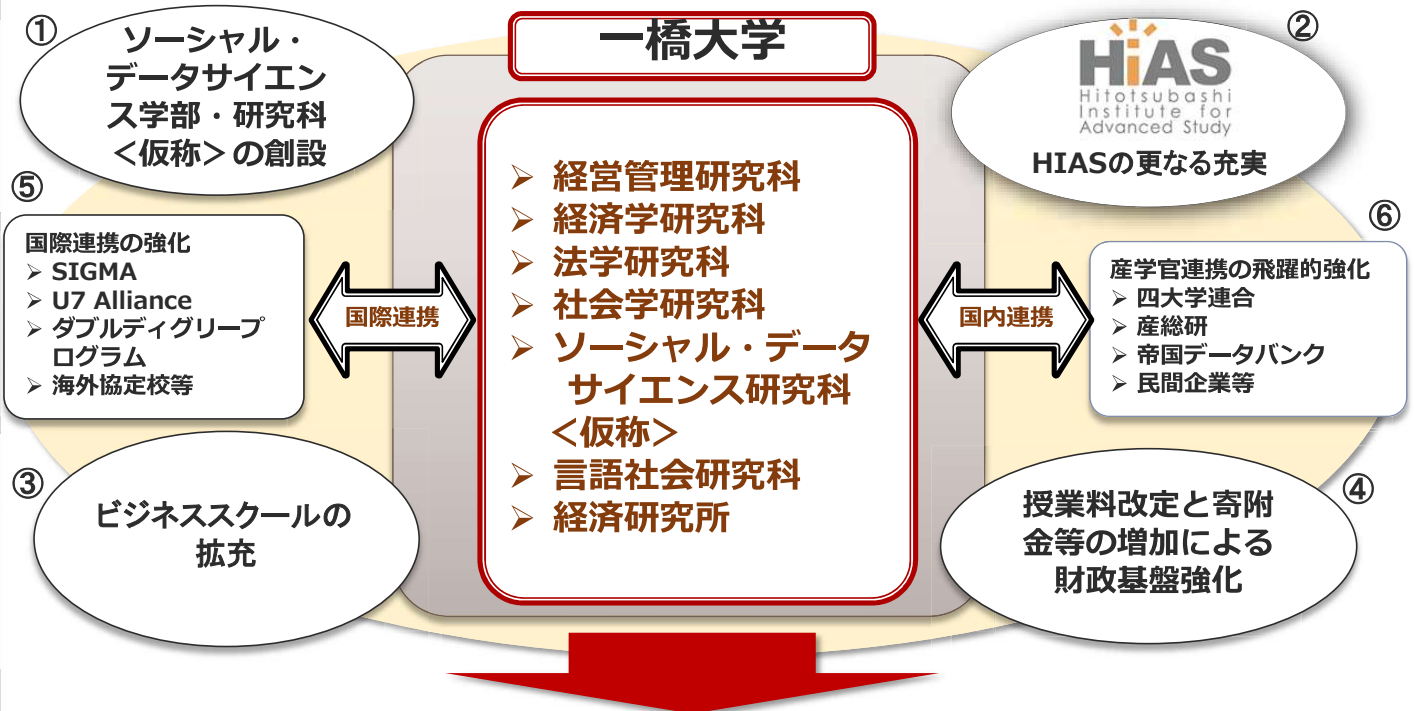
○現状の進捗状況

- ・戦略的重点化領域への国際水準の新規教員採用の進展
- ・国際業績の質・量の改善
- ・社会科学高等研究院を中心とする国際共同研究の展開と国際貢献
- ・国際ネットワークの展開と国際交流協定校の拡充
- ・AACSB国際認証取得による国際水準の教育の充実

○課題

- ・一橋大学の国際競争力の相対的な弱さに対応するために、国際水準の研究者集団の確立に加え、国際発信力の強化等に向けた国際水準を見据えた既存の教育研究組織等のより一層の改革が必要

○構想の充実・高度化に向けた取組について



「社会科学における世界最高水準の教育研究拠点」の構築



日本の社会科学を牽引する拠点形成
 ~グローバル・ウェルフェアへの貢献~

QS世界大学ランキングの向上
 ●社会科学分野 10位以内へ
 ●4小分類分野* 30位以内へ

他大学への波及効果を図る

社会科学の発展を考える円卓会議の情報を発信